

領域	統合分野	授業科目	在宅看護論概論	単位 (授業時間/時間数)	1 (14/15)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校		
<b>授業のねらい</b> <p>近年、超高齢社会で介護状態の高齢者が増加している。また、医療の進歩や介護用品の開発、ノーマライゼーションの普及や人々の療養意識の多様化で難病や医療器具を装着して生活する療養者も増加し、訪問看護の重要性が増している。</p> <p>本科目では在宅看護の概念と看護の内容、在宅看護を学ぶ意義を理解し、在宅看護の学習の導入を図る。そのため、我が国の在宅看護の歴史に始まり、在宅看護が求められる社会背景を学ぶ。さらに地域包括ケアシステムの中での看護の役割を理解し、さまざまな法制度のもと他職種と連携しながら看護する事を理解する。DVD等の視聴覚教材も活用し、訪問看護がイメージしやすいよう配慮し、訪問看護を受ける人々や看護の内容、関連する法制度をとらえる。さらに看護者としての倫理や療養者の権利について理解し、在宅看護の概念と基礎知識を学ぶ。</p>					
<b>授業目標</b> <p>在宅看護の概念と特徴を理解し、地域包括ケアシステムの中での在宅看護の役割を理解する。</p>					
<b>授業概要</b>					
1. 日本の看護は在宅看護から始まった?!		5. 訪問看護を受ける人々			
我が国の在宅看護の歴史		様々な療養者がいることを知る			
老年訪問看護から総ての人々へ		訪問看護について話そう!			
2. 今、なぜ在宅看護か?		6. 訪問看護の対象と看護の特徴			
在宅看護の目的、対象、位置づけ		訪問看護の対象者の理解			
求められる社会背景		訪問看護の特徴、成立条件			
3. 病院看護と何が違うの?!		7. 家族介護は大変だ!			
病院看護との違い		介護の今			
訪問看護に必要な概念		家族システムの理解			
4. 在宅ケアチームと訪問看護		介護負担に影響する因子			
地域包括ケアシステムとは?		介護負担の軽減への方策			
在宅ケアの目的と看護の役割					
<b>担当からのメッセージ</b> <p>在宅看護が求められる今、法制度に苦手意識を持たず、在宅看護に興味を持って欲しいと願っています。</p>					
<b>授業の進め方</b> <p>講義 (テキスト、資料配布をもとに)、DVD 視聴、グループワーク</p>					
<b>教科書</b> <p>ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア (メディカ出版)</p>					
<b>評価方法</b> <p>終講時 客観式テスト (100点) *試験時間は時間数に含む</p>					